

学校教育評価表（小・中学校）

学校名 大津市立 真野中 学校

評価の基準（3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった）

項目	評価の観点		自己評価 (3・2・1・0)	学校関係者評価 (3・2・1・0)	関連するSDGsの 目標(参考)
主体的・対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	3	3	
	2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(ICTの活用含む)	3		
	3	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施	3		
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	3	3	
	5	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流	3		
	6	保護者等への道徳科の授業公開	3		
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	3	3	
	8	体力づくりを推進する運動実践	2		
	9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成	3		
指導改善 (組織的・計画的)	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	2	2	
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	2		
	12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	3		
育ちと学びを支える 連 携					
① 家庭・地域との 連携・協働	13	保護者の子育てに対する積極的な支援	3	3	
	14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2		
	15	防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくり	3		
② 保幼小中の 連 携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業	2	2	
	17	校種間の授業公開や合同研修会	2		
	18	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究	2		
組織的体制の 充 実					
① 生徒指導体制の 充 実	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導 ※	3	3	
	20	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進 ※	3		
	21	家庭・地域・関係機関との連携による指導	3		
② 特別支援教育の 充 実	22	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	2	3	
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	3		
	24	関係機関と連携した相談体制の充実	3		

※ 特にいじめについては、学校基本方針の評価と関連させて行うこと

学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	3	3
-------	----	------------	---	---

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.45
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.31

* 各校の学校評価書から上記の1~25の観点にかかる自己評価および学校関係者評価結果を取り出し、本表に移記ください。
 * 評価の項目と関連があると考えられるSDGsの目標を参考として表示しています。

項目	評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委 学校評 価表と の関連	アンケート		自己評価		学校関係者評価	今後の改善 に向けて						
			データ【左】① そう思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない【右】		評価	本年度の取組と分析			意見・提言等					
			生徒	保護者						教職員				
1 生徒指導	生徒	生徒指導体制の充実	先生は、いじめや暴力行為等の問題に対して素早く対応している。	全校 125 3年 46 2年 37 1年 42	全校 45 3年 9 2年 22 1年 17	R5 16 R4 19 R3 16	A [R 4] 3.76 ↓ [R 5] 3.80	◆いじめ等、生徒指導上の問題に対しては、未然防止・早期発見・早期対応に努め、生徒指導主事、子ども支援コーディネーターが中心となり、毅然とした態度で組織的に対応した。特にいじめに対しては、教員の生徒観察だけでなく、生活ノートの点検、定期的なアンケート、第三者の生徒や保護者からの声を見逃すことなく、初期段階でいじめ対策委員会を開き、個々の生徒に丁寧な指導を行うことができた。 ◆生徒会と連携し、いじめ防止啓発活動(ありがとう週間、「267人267色」の取り組み)に力を入れ、保護者には「いじめ基本方針」のホームページ掲載や「きらり(生徒指導便り)」等の通信を介し、情報発信・連携にも力を注いだ。	A 学校が落ち着いた環境で組織的に対応できていると考えている。	ネットワークをはじめぐらし、軽いフットワークで迅速に対応し、チームワーク良く組織的な対応を今後も大切にしていく。				
	保護者		先生は、いじめや暴力行為等の問題に対して素早く適切に対応している。	全校 172 3年 57 2年 55 1年 60	全校 45 3年 12 2年 17 1年 17	R5 15 R4 18 R3 12					A [R 4] 3.72 ↓ [R 5] 3.75	◆各学年道徳教育担当者が中心となり、学年生徒の実態に即した教材の選定・開発に取り組み、心を育む教育活動を展開した。タブレット端末を活用した授業では自分の意見をしっかりと出してグループで交流ができた。 ◆「道徳」授業参観を実施し、保護者とともに学校協力者会議のメンバーも参観した。(11月1日) ◆12月の真野中人権週間に合わせ、全学年で人権学習を実施した。1年生では外部講師を招いて「聴覚に障がいのある人」について、2年生ではLGBTQについて、3年生では助産師による「命の学習」について、各学年ともに生命・人権尊重・多様性等についての学習を深めた。	A 地域で行われている人権のつどいや人権のワークショップに中学生が多く参加している。人権意識が育まれているおかげである。	人権教育や道徳科の授業はもちろんだが、日常的な命の大切や思いやりを育てる指導を心がけている。
	教職員		いじめや暴力行為等の問題に、素早く、毅然とした態度で対応している。	全校 167 3年 54 2年 53 1年 60	全校 63 3年 14 2年 26 1年 21	R5 12 R4 13 R3 9								
2 道徳・人権教育	生徒	道徳教育の充実	学校で、命の大切さや思いやりの気持ち、社会のルールについての指導をうけている。	全校 123 3年 45 2年 44 1年 34	全校 49 3年 9 2年 20 1年 26	R5 15 R4 17 R3 7	A [R 4] 3.64 ↓ [R 5] 3.75	◆学期ごとに教育相談旬間を設定し、学級担任を中心に学級生徒全員との相談活動を実施し、気軽に教師と相談できる関係づくりに努めた。 ◆教員が生徒と向き合う時間を大切に、休憩時間や昼休みの時間を活用し生徒とのコミュニケーションを積極的に図り、生徒との人間関係の構築に努めた。 ◆生活ノートやアンケートを活用し、早期に悩みに気づき、迅速に生徒にアプローチできるように取り組んだ。	A 一人ひとりの生徒の悩みを早期に察知して、早期に対応できるように様々なアプローチを続けていく。					
	保護者		学校は、勉強や進路、友だちのことなどについて、子どもの相談に気軽に応じている。	全校 163 3年 51 2年 57 1年 55	全校 66 3年 13 2年 31 1年 22	R5 14 R4 17 R3 10				A [R 4] 3.68 ↓ [R 5] 3.70	◆生徒に対する質問項目「楽しく学校生活を送っている」に対する肯定的な評価(そう思う・どちらかといえばそう思う)は、どの学年も90%を超え、全校生徒の92%が肯定的に回答している。 ◆保護者においては、肯定意見は85%である。同一学年の経年変化を見ると、学年が上がるほど肯定意見が高まる傾向があり、教育活動に対する理解が進んでいくと考えられる。 ★今後は、否定的な回答をした生徒の要因を探り、生徒との良好な関係を築きながら、きめ細かな指導に力を注ぎ、より魅力ある学校づくりを行っていく必要がある。	A 生徒の満足度が高い。	今後も一人ひとりの生徒に寄り添う教育活動を充実していきたい。	
	教職員		勉強や進路、友だちのことなどについての生徒の相談に快く応じ、適切なアドバイスができています。	全校 123 3年 45 2年 44 1年 34	全校 49 3年 9 2年 20 1年 26	R5 15 R4 17 R3 7								
3 豊かな心を育む教育	生徒	協働的な学び	学校は、いろいろな学習、体験活動を通して、友達と協働しながら活動を進めるすばらしさや、自主性や表現力を育てようとしていると思う。	全校 167 3年 54 2年 53 1年 60	全校 63 3年 14 2年 26 1年 21	R5 12 R4 13 R3 9	A [R 4] 3.48 ↓ [R 5] 3.60	◆新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、今年度はふるさと体験学習・校外学習・修学旅行・職場体験学習等を実施することができた。校外での体験活動に、生徒は意欲的に取り組んだ。 ◆各教科の授業については、読み解く力の育成を視点においた「学び合い」学習を効果的に行った。また、タブレット端末を活用した学習に積極的に取り組んだ。さらに、講師を招いた授業研究会を年3回行うことができた。また、「学び合い」先進校視察に半数を超える教職員が参加し、その学びを還元することで、教職員全体の意識向上につながった。	A これからも実体験を通じた教育活動を推進してもらいたい。					多くの体験活動を4年ぶりに行うことができた。今後は内容の充実と体験の質の向上を図りたい。
	保護者		学校は、いろいろな学習、体験活動を通して協働する体験、自主性や表現力、豊かな心を育てようとしている。	全校 167 3年 54 2年 53 1年 60	全校 63 3年 14 2年 26 1年 21	R5 12 R4 13 R3 9								
	教職員		いろいろな学習、体験活動を通して協働する体験、自主性や表現力、豊かな心を育てようとしている。	全校 167 3年 54 2年 53 1年 60	全校 63 3年 14 2年 26 1年 21	R5 12 R4 13 R3 9								
4 教育相談	生徒	学校満足度	勉強や進路、友だちのことなどについて気軽に先生に相談できる。	全校 123 3年 45 2年 44 1年 34	全校 49 3年 9 2年 20 1年 26	R5 15 R4 17 R3 7	A [R 4] 3.64 ↓ [R 5] 3.75	◆学期ごとに教育相談旬間を設定し、学級担任を中心に学級生徒全員との相談活動を実施し、気軽に教師と相談できる関係づくりに努めた。 ◆教員が生徒と向き合う時間を大切に、休憩時間や昼休みの時間を活用し生徒とのコミュニケーションを積極的に図り、生徒との人間関係の構築に努めた。 ◆生活ノートやアンケートを活用し、早期に悩みに気づき、迅速に生徒にアプローチできるように取り組んだ。	A 一人ひとりの生徒の悩みを早期に察知して、早期に対応できるように様々なアプローチを続けていく。					
	保護者		学校は、勉強や進路、友だちのことなどについて、子どもの相談に気軽に応じている。	全校 163 3年 51 2年 57 1年 55	全校 66 3年 13 2年 31 1年 22	R5 14 R4 17 R3 10								
	教職員		勉強や進路、友だちのことなどについての生徒の相談に快く応じ、適切なアドバイスができています。	全校 123 3年 45 2年 44 1年 34	全校 49 3年 9 2年 20 1年 26	R5 15 R4 17 R3 7								
5 学校満足度	生徒	学校満足度	全般的には、楽しく学校生活を送っている。	全校 163 3年 51 2年 57 1年 55	全校 66 3年 13 2年 31 1年 22	R5 14 R4 17 R3 10	A [R 4] 3.68 ↓ [R 5] 3.70	◆生徒に対する質問項目「楽しく学校生活を送っている」に対する肯定的な評価(そう思う・どちらかといえばそう思う)は、どの学年も90%を超え、全校生徒の92%が肯定的に回答している。 ◆保護者においては、肯定意見は85%である。同一学年の経年変化を見ると、学年が上がるほど肯定意見が高まる傾向があり、教育活動に対する理解が進んでいくと考えられる。 ★今後は、否定的な回答をした生徒の要因を探り、生徒との良好な関係を築きながら、きめ細かな指導に力を注ぎ、より魅力ある学校づくりを行っていく必要がある。	A 生徒の満足度が高い。	今後も一人ひとりの生徒に寄り添う教育活動を充実していきたい。				
	保護者		子どもは、学校生活におおむね満足している。	全校 163 3年 51 2年 57 1年 55	全校 66 3年 13 2年 31 1年 22	R5 14 R4 17 R3 10								
	教職員		生徒が楽しく、いきいきと学校生活を送ることができるように学校、学年、学級経営等を進めている。	全校 163 3年 51 2年 57 1年 55	全校 66 3年 13 2年 31 1年 22	R5 14 R4 17 R3 10								

項目	評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委 学校評 価表と の関連	アンケート		自己評価		学校関係者評価	今後の改善 に向けて	
			データ【左】① そう思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない【右】		評価	本年度の取組と分析			意見・提言等
			生徒	保護者					
豊かな心を育む教育	6 特別活動 生徒 体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動に積極的に参加している。 保護者 子どもは、体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動などに積極的に参加していると思う。 教職員 体育大会や文化祭等の学校行事、生徒会活動、学級会活動に生徒が積極的に参加できるように工夫している。		全校	全校	R5	A [R 4] 3.75 ↓ [R 5] 3.65	◆真野フェスタ(文化の部・体育の部)は、全校が一室に於いて開催することができた。4年ぶりに合唱コンクールを実施し、取り組みを通して、学級・学年への所属感を高め、団結・協力を深めることができた。 ◆生徒会や学年行事の実行委員会等、生徒が主体になり企画・運営する機会を設けることが、生徒自身の参加意欲、達成感につながっていると考えられる。	A 真野フェスタに地域住民が見に行くことができたり、参加できると良い。	来年度は地域のみなさんが足を運んでもらうことができればよいように検討していく。
			3年	3年	R4				
			2年	2年	R3				
体力づくり	7 体力づくり 生徒 規律正しい日常生活を送り、健康と体力の保持・増進に努めている。 保護者 子どもは、節度ある日常生活を送り、健康と体力の保持・増進に努めている。 教職員 節度ある日常生活をおくり、健康と体力の保持・増進に生徒が努めるよう心がけている。	体力づくり	全校	全校	R5	B [R 4] 3.44 ↓ [R 5] 3.45	◆各種感染症予防の観点から、昨年度に引き続き健康・安全面に注意を払い、規律ある生活を心がけていた。学校保健の立場から、養護教諭が中心となって予防策の徹底を図ることができた。また保護者への注意喚起にも、こまめな情報発信に努めることができた。 ◆体力づくりについては、部活動や体育の授業に熱心に取り組む生徒の姿が見られた。駅伝大会においては、男子チームが県大会に出場することができ、大津市予選よりタイムを更新し、48チーム中15位と健闘した。	B	
			3年	3年	R4				
			2年	2年	R3				
学習指導	8 学習指導 生徒 全般的には、学校の授業は、わかりやすい。 保護者 子どもは、全般的に学校の授業がわかりやすいと言っている。 教職員 わかりやすく意欲的に生徒が授業に取り組むための工夫をしている。	指導改善	全校	全校	R5	A [R 4] 3.83 ↓ [R 5] 3.75	◆「学校の授業はわかりやすい」と肯定的に回答した生徒は88%で、学年が上がるごとに数値が高くなる傾向がある。一方、保護者のアンケートでは70%を下回る結果であった。 ◆校内研究では、「学び合い」学習の推進、タブレット端末の活用等の授業改善に取り組んでいる。年3回の授業研究会や先進校訪問を通して、授業改善に向けての協議をおこなうことができた。 ★今後も校内研究として「学び合い」学習やタブレット端末を活用した「協動的な学び」を効果的に進め、さらに「わかりやすい授業」づくりに努めたい。また、保護者の理解を広げるために、授業参観や情報発信を積極的に進めていきたい。	A	保護者の満足度が低いので授業参観の機会を増やしたり、授業取り組みを紹介するなど、保護者が授業について知る機会を増やしていきたい。
			3年	3年	R4				
			2年	2年	R3				
学力向上に向けた取り組み	9 評価 生徒 通知票を見れば、自分の学習の状況がよくわかり、評価には納得できる。 保護者 通知票では、子どもの学習の状況が適切に評価され、学習状況や学校生活がよく分かる。 教職員 生徒の学習の状況を通知票等を通して、生徒や保護者がわかりやすく、納得いくように評価できている。		全校	全校	R5	B [R 4] 3.83 ↓ [R 5] 3.45	◆新しい学力観にもとづく「学習評価」について、教職員が指導と評価の一体化を意識し、適切な評価について研修を進めている。 ◆通知表(学習評価)に対する生徒・保護者の否定的な見方は少なかった。 ★通知表には、定期テストの点数だけでなく日々の主体的に学ぶ態度や課題に取り組んだ内容が反映されていることの周知が不十分である。年度当初に各教科でシラバスを作成する、懇談会等を通して生徒の様子を伝える等、保護者に周知できるように情報を提供していく必要がある。	B 新しい学力観とはどのようなことか。	評価の付け方について4月の段階で生徒・保護者に周知するシラバスなどの作成を進めていく。
			3年	3年	R4				
			2年	2年	R3				
学習習慣	10 学習習慣 生徒 宿題や課題をしっかりとやるなど、家庭学習の習慣が身についている。 保護者 学校は、宿題や課題などで、学習習慣を身につけさせ、家庭学習に取り組めるようにしている。 教職員 学習習慣を身につけさせ、家庭学習に取り組めるように、宿題や課題を適切に出している。		全校	全校	R5	B [R 4] 3.25 ↓ [R 5] 3.05	◆全国学力・学習状況調査(3年生)からは、家庭で宿題や予習・復習を計画的・自主的に進められない生徒は少なくない。その一因として、スマホやゲームを利用する機会が多く、家庭での学習時間を確保できていない現状がある。テスト前の補充教室(まのまるっと教室)等をきっかけに、主体的に学習に取り組む習慣づけを図りたい。特に保護者は課題の適切な提供を求めている。 ★学習の必要性等については、中学校卒業後の見通しをもつことができるように系統的なキャリア教育を行い、将来の目標の設定と主体的に学ぶ態度の育成につなげていきたい。	B 宿題は出していないのか、小学校と連携して家庭学習の充実を図っていく必要がある。	各教科で家庭学習の充実を図るために工夫するとともにタブレット端末で取り組むことができる課題提供なども検討していきたい。また、主体的に学ぶ態度を育成することで自ら家庭学習として課題に取り組むことができるようにしたい。
			3年	3年	R4				
			2年	2年	R3				
読書週間	11 読書週間 生徒 学校で朝読書に取り組むことで、普段から読書をする習慣が身についている。 保護者 教職員		全校			B [R 4] ** ↓ [R 5] 2.95 [生徒]	◆全国学力・学習状況調査(3年生)から、読書に日頃から親しんでいる生徒の数値が低いことが本校の課題であった。今年度は、年4回の朝読書週間を設け、各2週間ずつ取り組んだ。生徒アンケートでは、朝読書が本を読む習慣につながると回答した生徒は67%であった。(昨年同時期、71%) ◆昨年度に引き続き、選書会を開催し、図書室に配置する本を生徒自らが選ぶ機会を設けた。 ★生徒会図書委員会とも連携し、読書の機会を設けるだけでなく、読書が大切な意義を伝える場面をつくってきたい。この項目は、今後経年変化を見ていく必要がある。	B	読書週間や選書会を継続するとともに、家庭と連携して多くの本に触れることができるようにしていきたい。
			3年						
			2年						

項目	評価の観点 ※網掛けの項目は、大津市共通項目	市教委 学校評 価表と の関連	アンケート		自己評価		学校関係者評価	今後の改善 に向けて	
			データ【左】① そう思う ② どちらかというと思う ③ どちらかというと思わない ④ そう思わない【右】		評価	本年度の取組と分析			意見・提言等
			生徒	保護者					
12 安全指導	生徒	学校で、交通ルールや緊急時の対応など生徒の安全面について、必要に応じて指導を受けている。				B [R 4] 3.68 ↓ [R 5] 3.35	<p>◆自転車通学生のマナーについては、ルール違反に対する個別指導だけでなく、新聞報道されている交通事故等にもふれながら、タイムリーに集会や学級で指導している。また、生徒指導によりによる啓発や一斉下校時の下校指導を通して、生徒の自覚を促している。</p> <p>◆学校事故の未然防止に向けては、毎月の安全点検による施設管理や養護教諭を中心に安全啓発に取り組んでいる。</p>	B 意見・提言等 自転車通学のルールが守ることができていない生徒がいる。	学校教育の中で安全・生命を守ることが一番大切である。日常的な安全指導を大切にするとともにタイムリーな指導を心がけている。
	保護者	学校は、生徒の安全対策や安全指導などにきちんと取り組んでいる。							
	教職員	生徒の安全対策や安全指導などに高い意識をもって取り組んでいる。							
13 家庭生活	生徒	家庭で、日頃から学校や友人のこと、困っていることについて保護者とよく話をしている。			A [R 4] 3.28 ↓ [R 5] 3.48 【保護者】	<p>◆スポーツクラブや学習塾等の習い事が増え、思春期を迎える中学生の時期は、家庭で親子の会話時間を確保することは少しずつ難しくなる。生徒、保護者共に肯定回答は80%に満たない現状がある。</p> <p>◆学校での様子や友だちのことを話す機会が増えるようにホームページや通信等を通じて、タイムリーな話題提供に努める必要がある。</p>	A 意見・提言等 生徒と保護者が良好な関係を維持することができるように学校が家庭をサポートしていきたい。	生徒と保護者が良好な関係を維持することができるように学校が家庭をサポートしていきたい。	
	保護者	子どもとは、日頃から学校や友だちのこと、困っていることについてよく話をしている。							
	教職員	網掛け							
14 情報提供	生徒	学校からの通信やたよりなどをきちんと保護者に渡している。				B [R 4] 3.42 ↓ [R 5] 3.35	<p>◆学校より・学年通信・生徒指導より・保健より、学級通信等々保護者向け通信を定期的に発行し、情報提供に積極的に努めている。(但し、子どもから保護者に渡っていないケースも多々あるようである。)</p> <p>◆ホームページによる情報提供を積極的に行った。また、今年度から連絡配信アプリ(tetole)の活用を始め、通信等のデータ配信を進めている。今後も有効な情報提供源として充実させたい。</p>	B tetoleで進路通信等を送信してもらいたい。	tetole、ホームページ、紙ベースの通信を上手く使い分けながら適切な情報提供をしていきたい。
	保護者	学校は、通信やたよりなどで学校生活や進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。							
	教職員	学級、学年通信等で保護者に適切な連絡や、情報提供ができています。							
15 保護者支援	生徒	網掛け			A [R 4] 3.92 ↓ [R 5] 3.70	<p>◆学校生活の中で気にかかる生徒については、積極的に保護者に連絡を取り、情報共有、家庭連携を図っている。</p> <p>◆電話連絡のみならず必要に応じて家庭訪問を行ったり、学校へ来校してもらいなど、その都度適切な対応を心がけ、保護者とは綿密な関係づくりに努めている。</p> <p>◆1学期末・2学期末には個別懇談会を実施し、保護者との信頼関係を構築するとともに、生徒への適切な支援の仕方や課題について話し合う機会をもつことができた。</p>	A 意見・提言等 保護者との信頼関係の構築を大切にし保護者と協力して生徒を育てていきたい。	保護者との信頼関係の構築を大切にし保護者と協力して生徒を育てていきたい。	
	保護者	学校は、必要に応じて適切に保護者と連絡を取り合い、しっかり話をしている。							
	教職員	必要に応じて適切に保護者と連絡を取り合い、しっかり話をしている。							
16 PTA活動	生徒	地域の行事や活動にできるだけ参加、協力しようとしている。				B [R 4] 3.08 ↓ [R 5] 3.20	<p>◆新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、地域行事に生徒が参加する機会が増えた。真野北文化祭、真野文化祭には本校の吹奏楽部・美術部・4組が参加し、北部ブロック人権のつどいでは生徒チームがポッチャ体験をした。</p> <p>◆真野フェスタ「体育の部」にむけてグラウンドの草引きには、100名を超える生徒がボランティアとして参加した。また、体育の部本番には、校区の保幼子ども園の園児を招待し、玉入れに参加し、交流をおこなった。</p> <p>★「コミュニティスクール」と「まのまる夢プロジェクト」の取り組みを連携させ、生徒の地域社会への参画を進めることができるように検討していきたい。</p>	B 意見・提言等 生徒が地域の行事に多く参加してくれているのは有り難い。PTA活動は役員になると生徒の様子や学校の教育活動が理解できるのが良い。	PTAの退会者が今後増えるのは避けられないが、学校と保護者そして地域が連携して生徒を育てていきたい。
	保護者	地域の行事や活動、PTA活動にできるだけ参加、協力しようとしている。							
	教職員	地域の行事や活動、PTA活動にできるだけ参加、協力しようとしている。							

地域に信頼される学校づくり

学校評価アンケートに寄せられた意見・要望・質問等

分類	その他、学校運営に関しましてご意見・ご要望・ご質問等ございましたら、ご自由にお書きください。	回 答 文責 校長 西田 勝
学校行事	次月の予定が出てくるのが遅く、月が変わってから知ることが多い。早めにお知らせがあると助かります。	授業参観や懇談会、真野フェスタなどの行事については、基本的には1ヶ月前にお知らせを配布しておりますが、できる限り早めにお知らせするよう努めてまいります。また、真野中のHPにも年間行事の予定を公表しておりますので、ご確認ください。年間行事予定は、随時更新してまいりますので、ご注意ください。
	懇談会の時は駐車場を少しでもいいから開放してほしいです。	参観日などのお車でのご来校については、本校の駐車場の関係から、できる限りお車でのご来校をお断りしておりますが、以下のような基準を設定しています。 1. 入学式、卒業式、入学説明会、真野フェスタ(文化の部)については、グラウンドを駐車場として開放します。 2. 学期末の個別懇談会のように一斉に同じ時間に保護者の方が来校されない場合は、ご相談に応じてお車でのご来校を許可しております。 3. 全学年同時に開催される授業参観や真野フェスタ(体育の部)のような場合は、お車でのご来校をお断りしています。 特別な配慮等が必要なケースがございましたら、お気軽に学校にご相談ください。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。
	体育祭の種目をもっといろいろあってもいいかなと思いました。参観日、懇談会に車で行けるとありがたいです。いつもありがとうございます。	体育祭の種目については、学年を越えた縦割りの団体対抗としており、そのため個人競技よりも団体対抗の種目が多くなっています。熱中症対策として、体育祭の日を10月の午前中に開催する形を継続しています。そのため、種目を増やすことは難しいかと思われそうですが、生徒のニーズや意見も参考にしながら、来年度の体育祭をより良いものにするために努力してまいります。
学年学級経営	クラス替えなど、バランスをよくするために編成を考えて下さっていると思いますが、1人になるような子が出ないように、一人一人の性格、友達関係などしっかり把握していただけるとありがたいです。見た目にはわからない繊細な時期ですので、どうぞよろしく願いいたします。	子どもたちの学習環境やクラス編成に関するご心配をいただき、ありがとうございます。一人ひとりの性格や友人関係などを考慮し、バランスの取れたクラス編成を実現するために努めています。ただし、どの学年も3クラスであるため、組み合わせや分け方には制限があります。理想的な編成を目指していますが、現実的な制約もあります。外部からは見えない子供たちの繊細な心情やニーズを大切に、最適な学習環境を提供するために努めています。
学習指導	学力面では、滋賀県は下がったようですが、やはり気になるのでその面では先生方に力を入れていただきたいと思えます。何卒よろしく願い致します。	全国学力学習状況調査において滋賀県の学力が下がったという報告について、深刻な課題と認識しております。真野中学校では、一人ひとりが主体的で対話的で深い学びを実現できるよう、「協働的な学び」や「探究的な学び」といった方法を積極的に取り入れ、授業改善に取り組んでおります。これにより、生徒たちがより主体的に学び、深い理解を得ることができると信じています。保護者の皆様のご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。
ICT活用方法	学校運営に当てはまるかわかりませんが、パットでYouTubeを見れないようにして欲しいです。何らかの方法で見ることが出来るようです。テスト前に携帯など規制をかけていても、パットで見ているので意味がなく、テスト前だけでも何とかなればと思っています。	生徒の学習環境の向上を図るため、教育委員会のICT支援室では学習用タブレット端末のYouTubeなどの動画閲覧に関する問題に取り組んでいます。しかしながら、規制をかけても抜け道が次から次へと現れることも認識しております。また、タブレット端末にはMetamojiなどのソフトウェアが入っており、教科によってはノート代わりに活用しています。そのため、家庭学習のためにタブレット端末を持ち帰ることを禁止することはできません。そのような現状から、まずご家庭でお子さんとよく話し合い、自らの意思で適切に活用するように促すようお願いいたします。また、学校でもお子さんに働きかけることは可能ですので、ご相談いただければ個別に対応させていただきます。
定期テスト	中間テストの期間が2日間は短いと思う。	テスト期間が2日間と短いと感じられる点については、生徒が適切に準備し、テストに臨むための十分な時間が確保されるよう、部活動停止になる1週間前からの過ごし方やテスト勉強の計画の立て方など、適切な対応を行ってまいります。基本的に、6教科以上の定期テストの場合に2日間を設定しております。生徒の負担やストレスを軽減し、学習の効果を最大化するためには、テスト期間の見直しを検討する必要がありますが、同時に授業時数の確保も重要です。現状のままであることをご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、3年生の実力テストは5教科を1日で実施しております。
宿題	宿題や課題などの量が多すぎる方が多いと思います。我が家は塾に通っていないので、宿題や課題がなければ家庭での学習量が少なくなり、学習習慣が身につかず、家庭学習に十分に組み込んでいません。本来、塾なしでも学力がつかうのが望ましいと思うので、毎日1、2時間以上はかかる宿題や課題を出していただきたいと思っております。	中学校では、教科毎に宿題が出されるため、宿題の量には偏りがあり、小学校のように毎日一定量の宿題を出すのが難しいと認識しています。そのため、各教科担当者からは、日々宿題を出すことも検討しますが、それと同時に、宿題の有無に関係なく、日々の授業で学んだ内容の予習や復習方法、理解度の確認方法に焦点を当てた指導を強化したいと考えています。
教育相談	教育相談の時に子供と先生が話せるチャンスがありますが、それ以外で、ちょっと困ったことが、先生に気軽に話せるような機会があればいいなとおもいます。	生徒が先生と気軽に相談できる機会を増やすことの重要性について理解しております。授業の合間における生徒の過ごし方を見たり、健康観察での担任と生徒のやりとり、毎日の連絡帳(スクールライフ)における生徒の一言日記やつぶやきなど、幅広くアンテナを張り、サインを見落とすことなく複数の目で子どもたちを見守っております。相談したいときに教師が近くにいる環境を整え、話しやすい関係性を築くため、これからも努力してまいります。また、ご家庭におかれましても、お子さんの細かな変化や気になるようなことがございましたら、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。周りの大人全員が子どもたちの成長をサポートしていきたいと考えています。
校則	制服について女子はスカートだが、パンツスタイルも導入されては?希望する人もいるかもしれない。	令和4年度より、女子の制服に関して、「スカートの代わりに、紺色・無地のスラックスを着用することも認められる」という内容を盛り込んだ『真野中生の約束』を改訂いたしました。今後も、文科省の生徒指導要綱改訂版に則りつつ、時代や社会環境に即した校則となるよう、生徒や保護者、地域の声を丁寧に受け止めながら、見直しを行ってまいります。
tetoru	自分の子供が悪いのですが、お便りなどを出さないことが多いため、tetoruを活用するか、ホームページに適宜載せてほしいです。また、年間スケジュールは、仕事のスケジュールに大きく影響するので、次年度のものは今年度中に決まっている分だけでも教えていただけると、有り難いと思えます。	保護者の方々に情報を提供する手段として、今年度からtetoruを活用しており、メールでお便りや学年通信などを配信しています。また、学校通信に関しては、HP上で公開していますので、ぜひご活用ください。さらに、年間行事についても、その時点での予定をHP上で公開していますので、ご不明点があれば随時ご確認いただけますようお願いいたします。
	学校からのプリントを忘れて出さないことが多いので、テトルからの連絡大変役に立ちます。	配信回数が多いことを踏まえて、小まめにチェックしていただけると助かります。情報が追加されたり、重要なお知らせがあるかもしれませんので、定期的な確認をお願いいたします。何かご不明点やご質問がございましたら、お気軽にお知らせください。
	欠席連絡の電子化と配布の手紙を電子で閲覧できるようにしていただけるとありがたいです。欠席連絡もアプリでできるようにすると良いと思います。アプリで配信される文書が拡大しないと読めないのが不便を感じています。	現在、tetoruを活用している学校では、欠席連絡の設定も可能ですが、本校のような小さな学校では、電話での欠席連絡の件数も対応可能な範囲にあります。また、直接電話で保護者の方とお話しすることで、お子さんの様子や細かな情報を確認することができ、きめ細やかな対応や保護者とのコミュニケーションを図ることができます。保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、何かあればどうぞお気軽にご連絡ください。
トイレ改修	あとわずかの期間ですが、子どもはトイレの改修をととても喜んでます。	トイレの改修は学校の環境を向上させ、生徒の快適さと衛生状態を向上させたいです。真野中学校では、すべてのトイレが3年かけて計画的に改修される予定です。工事期間中は、ご迷惑をおかけすることになりますが、施工は夏休みなど授業のない時期に行われますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。